



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

オマーン：オマーン経済フォーラムでのマッキー国家経済大臣の発言
(4月26日付現地各紙)

4月25-26日、マスカットで開催された第二回オマーン経済フォーラムにてマッキー国家経済大臣が概要次の通りオマーンの経済情勢について述べた。大臣の発言概要は以下のとおり。

なお、同フォーラムには GCC 諸国を含むアラブ諸国、独、仏、インド、シンガポール、韓国、ブルガリア、トルコなど海外約 100 カ国から 600 人超が参加した。

1. 世界的金融危機の影響を最小限に抑えられたことは政府の経済多角化政策が成功したことの表れであり、2009年の経済低迷は全ての国々にネガティブな影響を及ぼしたが、オマーン経済はプラス 3.7%の実質 GDP 成長率を確保出来た。また、慎重な財政・金融政策により、オマーンの銀行セクターの保有する債権が不良債権化することを最小限に留めた。オマーン政府は、今年の経済成長率が 6%になると予測している。
2. 今年度、オマーン政府は 10 億リヤル（注：US\$/0.3835 オマーン・リヤル）をインフラ・プロジェクトに投じる計画であり、特に港湾開発、道路、空港及び観光プロジェクトに重点的に投資している。サララ及びマスカット空港に加えて、4 地方空港の開発を行っているほか、経済加速化の為に工業港の開発を行っている。ドウクム港開発はオマーンの経済開発に非常に重要である。尚、政府はオマーン青年の雇用機会を増加させる動きの中で、労働集約的プロジェクトを重点的に実施している。
3. 現在の原油価格が維持されれば、財政赤字は全く発生しない見込みである。（オマーンの 2010 年予算では、原油価格をバーレル 50 米ドルとしており、8 億リヤルの財政赤字が見込まれている）。
4. 最近の数字によれば、オマーンへの外国直接投資は約 90 億リヤルに達している。政府としては、外国直接投資は近いうちに倍増すると期待しており、政府としてもそのために必要なあらゆる努力をする。